

	<h1>純 岡</h1>	帯広市立帯広第五中学校 TEL34-5710 FAX34-4704 e-mail obi5jhs@f1.octv.ne.jp 校長 河端 則好
 <p>帯広市立帯広第五中学校 DAIGO PRIDE ～ほこりの持てる私になるう～</p>		

市PTA中央ブロック講演会から

正しく怖がるインターネット

～事例に学ぶ情報モラル～

ネットモラル講演会



帯広市PTA中央ブロック講演会（五中事務局）に小木曾 健（おぎそけん）氏を迎え、ネットモラルについて学習しました。小木曾健氏は、グリー株式会社の安心安全マネージャーとしてインターネット啓発に関する講演を毎年300回以上開催し、日々、全国を駆け巡っております。現実にあった多くの事例説明や小木曾氏の丁寧でわかりやすい語りによりアツという間の1時間30分の講演でした。一部その内容を紹介します。

スクリーンに東京・渋谷のスクランブル交差点の写真が映りました。中央で少女が、名前や携帯番号を書いたボードを掲げています。「みなさんにお願ひがあります。ボードに自分の大切な情報を書いて、渋谷の交差点に30分ほど立っていて欲しい。皆さんはこれをできますか？・・・できないですね。」でも実はこれ、毎日世界中で大人もやりまくっていることです。インターネットにもものを書くということは、この交差点に掲げることと同じです。「この交差点の方がまし。通る人は1日たった40万人。しかもボードを下ろすことができる。でも、ネットは違います。一度あげたら二度と下ろせません。全世界に公開され続けます。」と衝撃的な話から講演が始まりました。

まとめとしては

その書き込みは、自宅の玄関に貼って大丈夫ですか。

ネットへの書き込みは玄関の張り紙と同じ

ネットは、自宅の玄関に貼り紙を貼っているのと同じです。自宅の玄関に貼れる内容であればどんなものでもネットに書き込んでも大丈夫です。その代りに玄関に貼ることのできない内容は、絶対に書けないのです。

以上、講演内容の一部を紹介させていただきました。常に進化し続けるネット環境、今回の講演で多くの新しい事を知り、学ぶことができました。